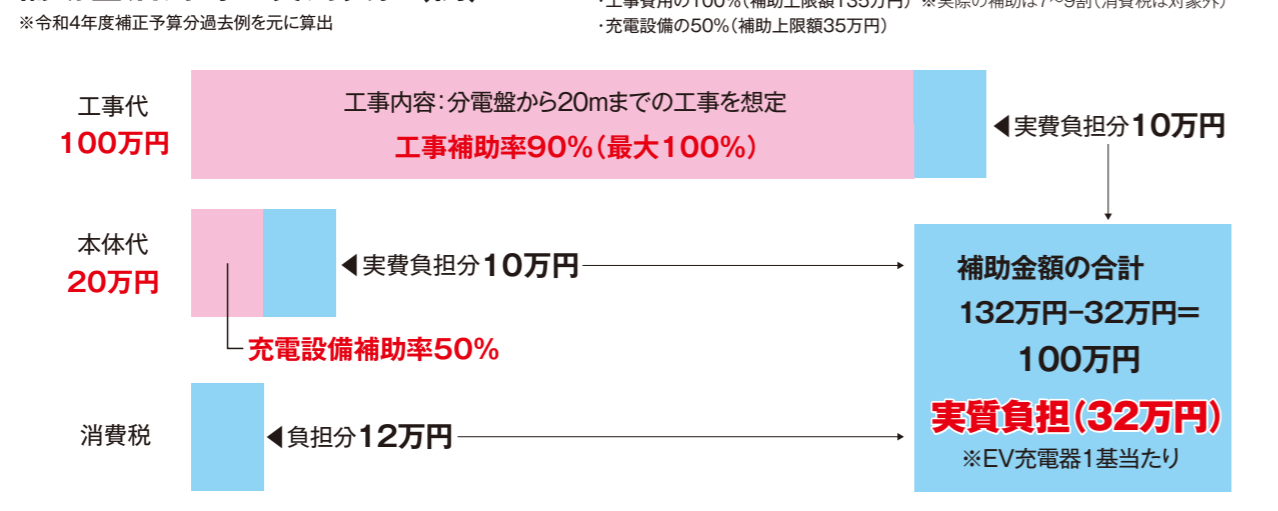


充電器設置のメリット

- 利用者の施設滞在時間延長が見込める**
⇒充電が溜まるまでの間、施設に留まってもらうことが可能で、間接的に売上に繋がる。
- EV車ユーザーの集客に繋がる**
⇒EV車ユーザーは充電設備のある施設を優先的に利用することが多く、選ばれる理由に繋がる。
- 環境問題やSDGsへの取組みPRになる**
⇒環境省からカーボンニュートラルの実現に向けた施策も発表され、国全体で環境問題へ取組む姿勢が強まっている。
- 社用車がEVの場合、自社充電で経費削減**
⇒もちろん自社で利用することも可能。営業後に充電すれば、ガソリン代も営業中の給油も必要なし。
- 補助金利用で低コストで充電器を導入可能**
⇒現在、EV用普通充電器は充電インフラ補助金対象のため、工事代や本体代の補助金が支給される。

補助金活用時の費用負担(例)



補助金受取までの流れ

	見積もり依頼	現地調査 見積もり作成	補助金申請書類の確認	補助金申請書類の作成	補助金申請	工事	代金振込み	補助金申請(審査)	補助金受取
オーナー様	→	→				→	→		→
有限会社アートライフ		→	→	→	→			→	

将来的にはEV充電の需要がさらに高まることが予測される。早期に充電インフラを整備することは、中長期的な経営戦略において有益だろう。同社の米田智士郎部長は「補助金を活用できる内に、導入の検討をオススメします。弊社では補助金の申請代行ほか、見積もり作成や現地調査についても無料にて対応します」と話す。

ホールにおけるEV充電器の設置は、顧客サービスの向上、環境保護への貢献、企業イメージの向上という点で多大な利点をもたらす。この機会に、積極的な検討を推奨したい。

EV用普通充電器(産業用モデル) JW-EVSE-KI Series



写真イメージ
 EV普及に当たって充電インフラの不足が大きな課題となるなか、パチンコホールの駐車場は目的地充電(=長い滞在時間を有効活用して充電できる)が可能な施設として注目を集めつつある。



同出力のEV普通充電器では日本最小(世界最小クラス)、最軽量を実現。



EV充電器の設置に当たり同社は現地調査、見積作成、補助金申請(書類作成)、工事、保守メンテナンスまでワンストップサービスを展開する。

国の補助金が使え、今がチャンス！充電機器代半額、工事費負担1割
無料EV充電スポットで一足先の集客を
 (有)アートライフの「EV用普通充電器」は、コンパクト&高出力で設置が容易。来店客に無料充電サービスを提供する。補助金活用で導入コストを削減しつつ、顧客満足度と企業イメージを向上させるメリットがある。

環境への配慮と持続可能な社会実現への関心が高まるなか、EVの普及が加速している。この流れはパチンコ業界においても無視できず、ホールがその新たなフロンティアとなり得る可能性を秘めている。

EV充電器を設置するメリットの1つは、顧客サービスの向上だ。EVを所有する来店客に対して充電インフラを提供することで、ホールへの滞在時間の延長が期待できる。また、環境意識が高い顧客層の取り込みも見込める。

EV無料充電でサービス差別化

(有)アートライフが販売を手掛ける「EV用普通充電器(産

業用モデル)は、高出力(3.2kW~8kW)ながら、充電器のサイズは日本最小を実現。場所を選ばずに設置できる点の特長だ。

また同業他社製品(サービス)と比べ利用方法の制約が少なく、設置者の用途次第で様々な使い方が可能。課金用アプリ不要の無料充電スポットとしての設置もでき、その場合の主なランニングコストは契約電気料金のみとなる。

設置に際しては、国や地方自治体の補助金制度を活用で



有限会社アートライフ環境事業部の米田智士郎部長。

DATA

ArtLife

有限会社アートライフ

●電話
048-826-6591
 ●所在地
埼玉県さいたま市
桜区西堀8-14-23
 ●WEB
https://artlife.bz